

# バスは区民の足・命綱

## 生野区の 交通空白地域は ただちに解消を!



維新市政によって赤バスの廃止や市バス路線の削減・減便が強行され「区役所に行けない」「病院に行く便がなくなった」「外出できない」「買物に行けない」など、生野区民の生活に深刻な影響を与え続けています。生野区民は、65歳以上の高齢者が3割を超え、そのうち、一人暮らしが4割です。「交通空白地域」の解消は急務です。

### 交通空白地域とは?市民の外出に支障が!

「交通空白地域」とは鉄道の駅から半径500m、バス停留所から半径350mを超える地域のことを言います。昨年1月に開催された区主催の「地域交通セミナー」で、生野区役所は、「交通空白地域」が巽、田島、生野、西生野の4小学校区の半分を占め、支障をきたしている高齢者(65歳以上)だけで4,121人にのぼることを明らかにしました。



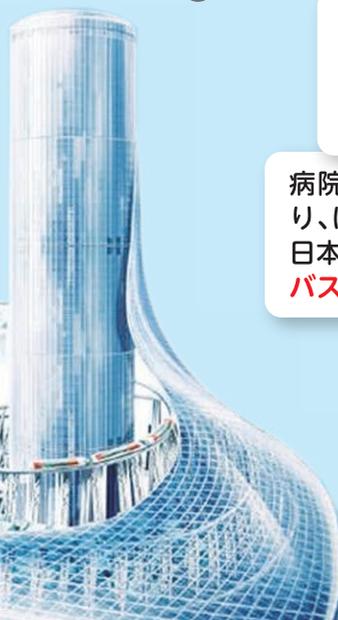
### 予算を確保しバス路線の開設を!

公共交通の整備はまちづくりの土台、地域の活性化にもつながります。また、高齢者の外出を保障することは、健康な心身を維持し、介護や福祉・医療費の削減につながります。

大阪市都市交通局は「各区からサポートの要請があれば応じる」と回答しています。「財源がない」という区役所に責任を押し付けずに予算を確保し、必要なバス路線を開設し「交通空白地域」を解消することが急務です。

### 年400億円黒字の地下鉄 夢洲に1000億円の超高層ビル?!

市民の足のバス路線をつぶす一方で、黒字の地下鉄が資金を投入する先はカジノ誘致と直結する夢洲駅の超高層ビルの建設、しかもその金額は削減されたバスへの支援金30億円の33年分です。こんな維新市政はもうごめんです!



大阪メトロが2018年12月20日に発表した「夢洲駅タワービル」(イメージ)

### なぜこんなことに?

市民には自由に移動・外出できる交通権があります。それを保障するのが公共交通の責任です。大阪市交通局は地下鉄が毎年黒字を続けるなかで市バスへの援助を毎年30億円行っていますが、維新市政になりバッサリ切捨て、路線の廃止・減便を強行しました。



### 声 声 声 バス路線充実を

大阪市をよくする会がおこなったアンケートに生野区民からこんな声が!

区役所に行くのに、バス停も遠くて不便で、結局ショッピングカーを押しつつ休みながら35分歩いて…。早くコミュニティバスの実現を!

鉄道が近くに無い人達にとってバスは命綱です。病院も路線によって決まってしまう、役場等に行く路線の無い人は大困りです。

病院に行く路線がなくなり、けいさつ病院、NTT西日本大阪病院、桃谷駅前バスを復活してほしい。

区役所へ乗り換えしないといけない。1時間に1本になりむちゃくちゃ不便になった。

巽南は生野の網走です。

### コラム

4月1日から「いまざとライナー」(BRT)が走ります。今里-大池橋-杭全を通り、「あべの橋」行、「地下鉄長居」行の2ルートで1時間に3本走ります。区民の運動が実った地下鉄「今里筋線」延伸の社会実験です。

